

# せたがや未来の平和館ライブラリーおすすめ本

## 令和3年度

- 4月 『まんが パレスチナ問題』 山井教雄、講談社、2005  
『孫たちへの証言 第1集 私の八月十五日』 「自分史教室」講師・(株)新風書房代表編、(株)新風書房、1988  
『地図と写真で見る東京オリンピック 1964』 ブルーガイド編集部編、実業之日本社、2015
- 5月 *新型コロナウイルスの影響でライブラリー閉鎖*
- 6月 『軍隊のない国家 27の国々と人びと』 前田朗、日本評論社、2008  
『ぼくの東京が燃えた』 石井昭、新日本教育図書、1997  
『台所に敗戦はなかった 戦前・戦後をつなぐ日本食』 魚柄仁之助、青弓社、2015
- 7月 『「無言館」ものがたり』 窪島誠一郎、講談社、1998  
『現代オリンピックの発展と危機』 石坂友司、人文書院、2018  
『アオギリよ芽を出せ』 大川悦生、新日本出版社、1992
- 8月 『チャップリンとヒトラー』 大野裕之、岩波書店、2015  
『漫画家たちの「8・15」』 石川好、潮出版社、2013
- 9月 『スポーツと政治』 坂上康博、山川出版社、2001  
『ピース・ブック』 トッド・パール、童心社、2013  
『世界の「戦争と平和」博物館』 荒井信一／早乙女勝元監修、日本図書センター、1997
- 10月 『世界史の極意』 佐藤優、NHK出版新書、2015  
『ハンナのかばん アウシュビッツからのメッセージ』 カレン・レビン著／石岡史子訳、ポプラ社、2002  
『蠅の帝国 軍医たちの黙示録』 帚木蓬生、新潮社、2014
- 11月 『つしま丸のそうなん 沖縄のこどもたち』 金沢嘉市、あすなろ書房、1972  
『私の昭和映画史』 廣澤榮、岩波書店、1989  
『新版・東京の戦争と平和を歩く』 東京都歴史教育者協議会編、平和文化、2008

- 12月 『戦争孤児たちの戦後史1 総論編』浅井春夫・川満彰編、吉川弘文館、2020  
『来なかったサンタクロース』増田昭一、夢工房、2006  
『坂の上の雲』司馬遼太郎、文藝春秋、1969
- 1月 『人間の未来 手塚治虫からの伝言』手塚治虫著・中野晴行監、童心社、2018  
『もしも魔法が使えたら 戦争孤児 11 人の記憶』星野光世、講談社、2017  
『戦争を知るための平和学入門』高柳先男、筑摩書房、2000
- 2月 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』プレイティみかこ、新潮社、2021  
『ドッグメン 第三軍犬小隊』ウィリアム・W・パトニー、柏艸舎、2004  
『写真で読む 僕が見た「大日本帝国」』西牟田靖、情報センター出版局、2006
- 3月 『世界がぐっと近くなる SDGsとボくらをつなぐ本』池上彰、学研プラス、2021  
『はじめて出会う平和学 未来はここからはじまる』児玉克哉・佐藤安信・中西久枝、有斐閣、2004  
『白旗の少女』比嘉富子、講談社、1989

## 特集記事

- 「安曇野牧に疎開してきた子供たちと田淵行男 上野静子『満願寺日記』と田淵写真が語る戦中・戦後」
- 「東京オリンピック 1964 についてもっと知りたい人におすすめの本」
- 「SDGsについてもっと知りたい人にオススメの本」
- 「ウクライナのこと、知っていますか？」